

企 画 名：つなげたい！ひろめたい！ミツバチまもり隊！

団 体 名：小織健央

1. 報告要旨

今回の企画では、主に地域に向けた広報活動として、音楽祭や映画上映会を軸にした活動を行った。

目玉である「みつばち音楽祭」では、来場者 150 名、出演チーム 10、出店 25 など、地域行事としては比較的大規模のイベントを成功させた。農薬ネオニコチノイドの危険性からミツバチの減少に警告を発した記録映画『ミツバチからのメッセージ』の上映会も同会場で行い、大人 24 名、子ども 7 名の参加であった。

上記の記録映画の上映会を、4 月から 3 月までの間に 10 回実施し、参加人数は延べ 155 名(大人)に上った。映画上映後に、質問や意見、感想など出し合う機会を設けた。参加者へのアンケートの回答では、農薬問題に初めて気づいたとか環境の大事さを強調するなど、おおむね積極的な反響があった。

上映会、イベントなどの実施に際しては、他団体との共催を積極的に呼びかけ、活動のつながりを広げた。

継続的な関係をもった会としては、NO!ネオニコたかしまの会、オーガニック給食委員会、FEC 自給圏ネットワークなど7団体に上る。

企画の一環としてなされた当会ホームページ <http://mitsumamo.pw/> やメーリングリストの開設は、対外的広報や会員連絡に威力を発揮し、会の強化、運営機能の活性化につながった。メーリングリスト会員は現在 86 名、会費会員は 29 名。Facebook ページへの“いいね！”数は、296 件(‘16 年 3 月時)と順調に伸びた。

また、会の活動を知らせ参加をよびかけるパンフレット「ミツバチまもり隊」は、2000 部作成しイベント毎に配布した(累計 900 部)。

地域祭などでは「ミツバチまもり隊」の幟をたてて出店参加をし、飲み物、ポップコーンなど、またオリジナルポストカードを販売し、「ミツバチまもり隊」独自の展示や資料の配布を行った。

県知事、市長など地域行政に対しては、ネオニコ農薬からの撤退を求める要請書を出し、それぞれからの回答を得た。

しかし、行政からの回答からうかがえるように、私たちの活動が理解され浸透したとは言い難く、市民レベルに根を張った活動のさらなる飛躍が必要であると実感させられる。

2. 成果物

1. パンフレット「ミツバチまもり隊」(会活動の紹介と入会呼びかけ)
2. 「ミツバチは心安らぐ友達 地域の『ミツバチまもり隊』にも参加」The Big Issue 日本版 (2016.1.1)
3. 「生態系守り自然と共存 ミツバチ減少に警鐘」読売新聞しが県民情報 (2016.3.8)
4. 高島市への質問状「『[水稻病害虫防除のお知らせ](#)』についての要望」(2015.6.15)
5. 滋賀県知事への質問状「[ネオニコチノイド系農薬の使用中止を求める要望](#)」(2016.1.24)
6. インターネットテレビ「[高島みてねっと!](#)」(2015.7.2)
7. 「高島ガイド」おっきん！みつばち音楽祭 2015 滋賀・高島市